

心理学・教育学委員会 脳と意識分科会 第24期・第7回 議事要旨

日時：令和元年10月25日（金）14時30分～16時30分

会場：日本学術会議 大会議室

出席者：苧阪直行委員長、坂田省吾幹事、蘆田宏、苧阪満里子、川畑秀明、坂上雅道、三宮真智子、仁平義明、松井三枝、山口真美（10名）

配付資料：第24期・第6回議事要旨、マスタープラン2020

議題

（1） 前回議事要旨の確認

第6回分科会の議事要旨を確認した。

（2） 会員総会の報告を確認した。（松井三枝先生）

（3） 山口真美委員の研究紹介

乳幼児の視覚発達の不思議について色カテゴリ効果等の話題提供や、顔・身体学の新学術領域研究の紹介の他、境界を越えて境界をつくるアバター、バーチャルYouTuberの紹介からおじさんを美少女化したテクノロジーの紹介まで幅広い話題提供があった。参加した各委員からは多くの熱心な質問が出て、活発な討論が行われた。

（4） マスタープランの今後について（省庁への訪問について）

マスタープラン2020はヒアリングに呼ばれずにそのまま通過したことの報告があった。新しい社会を作るために計画が必要である等の発言があった。

（5） 第24期における意思の表出の予定について（照会）

時間的に余裕がないことから今回は提言提出を見送ることとした。

（6） その他

昨年10月に京都大学で開催された日本学術会議近畿地区講演会「社会脳から心を探る」の内容を学術会議叢書として発行することについてこれを承認した。

日本心理学会第84回大会で公開シンポジウムを企画することを承認した。世話人は坂田幹事。

次回分科会を3月に開催し、坂田委員が研究紹介を行うこととした。